

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 7 区分
【発行日】平成 21 年 11 月 5 日 (2009.11.5)

【公開番号】特開 2008-94545 (P2008-94545A)
【公開日】平成 20 年 4 月 24 日 (2008.4.24)
【年通号数】公開・登録公報 2008-016
【出願番号】特願 2006-277927 (P2006-277927)
【国際特許分類】

B 6 6 B 5/00 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 5/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 17 日 (2009.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エレベータの地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、エレベータの全昇降行程の一部に限定して設定する診断区間設定部と、

地震時管制運転が実施された後、前記診断区間設定部によって設定された診断区間のみ診断運転を実施し、前記診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、全昇降行程の一部に限定してエレベータの運転を再開させる運転制御部と、を備え、

前記診断区間設定部は、前記診断区間において実施された診断運転で異常が発見された場合に、診断運転を再実施する区間を、エレベータの全昇降行程のうち、前記異常が発見された位置を除く他の一部に限定して再設定することを特徴とするエレベータの制御装置。

【請求項 2】

地震発生時のエレベータのかごの状態を記憶するかご状態記憶部と、

前記かご状態記憶部によって記憶された前記かごの状態に基づいて、地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、エレベータの全昇降行程の一部に限定して設定する診断区間設定部と、

地震時管制運転が実施された後、前記診断区間設定部によって設定された診断区間のみ診断運転を実施し、前記診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、全昇降行程の一部に限定してエレベータの運転を再開させる運転制御部と、を備え、

前記診断区間設定部は、前記診断区間において実施された診断運転で異常が発見された場合に、診断運転を再実施する区間を、エレベータの全昇降行程のうち、前記異常が発見された位置を除く他の一部に限定して再設定することを特徴とするエレベータの制御装置。

【請求項 3】

運転制御部は、診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、前記診断区間内の所定の範囲に限定してエレベータの運転を再開させることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のエレベータの制御装置。

【請求項 4】

診断区間設定部は、エレベータが複数台設置されている場合に、運転再開時に前記複数台のエレベータによって全昇降行程を昇降することができるように、地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、前記全昇降行程の一部に限定して設定することを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れかに記載のエレベータの制御装置。

【請求項 5】

診断区間設定部は、地震時管制運転後に実施された診断運転において複数台のエレベータの少なくとも 1 台のエレベータに異常が発見された場合に、運転再開時に、異常が発見されたエレベータを除く他のエレベータによって全昇降行程を昇降することができるように、診断運転を実施する診断区間を再設定することを特徴とする請求項 4 に記載のエレベータの制御装置。

【請求項 6】

エレベータの地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、エレベータの全昇降行程の一部に限定して設定するステップと、

地震時管制運転が実施された後、設定された診断区間のみ診断運転を実施するステップと、

前記診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、全昇降行程の一部に限定してエレベータの運転を再開するステップと、

前記診断区間において実施された診断運転で異常が発見された場合に、診断運転を再実施する区間を、エレベータの全昇降行程のうち、前記異常が発見された位置を除く他の一部に限定して再設定するステップと、

を備えたことを特徴とするエレベータの制御方法。

【請求項 7】

地震発生時のエレベータのかごの状態を記憶するステップと、

記憶された前記かごの状態に基づいて、地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、エレベータの全昇降行程の一部に限定して設定するステップと、

地震時管制運転が実施された後、設定された診断区間のみ診断運転を実施するステップと、

前記診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、全昇降行程の一部に限定してエレベータの運転を再開するステップと、

前記診断区間において実施された診断運転で異常が発見された場合に、診断運転を再実施する区間を、エレベータの全昇降行程のうち、前記異常が発見された位置を除く他の一部に限定して再設定するステップと、

を備えたことを特徴とするエレベータの制御方法。

【請求項 8】

診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、前記診断区間の所定の範囲に限定してエレベータの運転を再開するステップを備えたことを特徴とする請求項 6 及び請求項 7 に記載のエレベータの制御方法。

【請求項 9】

エレベータが複数台設置されている場合に、運転再開時に前記複数台のエレベータによって全昇降行程を昇降することができるように、地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、前記全昇降行程の一部に限定して設定するステップを備えたことを特徴とする請求項 6 から請求項 8 の何れかに記載のエレベータの制御方法。

【請求項 10】

地震時管制運転後に実施された診断運転において複数台のエレベータの少なくとも 1 台のエレベータに異常が発見された場合に、運転再開時に、異常が発見されたエレベータを除く他のエレベータによって全昇降行程を昇降することができるように、診断運転を実施する診断区間を再設定するステップを備えたことを特徴とする請求項 9 に記載のエレベータの制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

この発明に係るエレベータの制御装置は、エレベータの地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、エレベータの全昇降行程の一部に限定して設定する診断区間設定部と、地震時管制運転が実施された後、診断区間設定部によって設定された診断区間のみ診断運転を実施し、診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、全昇降行程の一部に限定してエレベータの運転を再開させる運転制御部と、を備え、診断区間設定部は、診断区間において実施された診断運転で異常が発見された場合に、診断運転を再実施する区間を、エレベータの全昇降行程のうち、異常が発見された位置を除く他の一部に限定して再設定するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また、この発明に係るエレベータの制御装置は、地震発生時のエレベータのかごの状態を記憶するかご状態記憶部と、かご状態記憶部によって記憶されたかごの状態に基づいて、地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、エレベータの全昇降行程の一部に限定して設定する診断区間設定部と、地震時管制運転が実施された後、診断区間設定部によって設定された診断区間のみ診断運転を実施し、診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、全昇降行程の一部に限定してエレベータの運転を再開させる運転制御部と、を備え、診断区間設定部は、診断区間において実施された診断運転で異常が発見された場合に、診断運転を再実施する区間を、エレベータの全昇降行程のうち、異常が発見された位置を除く他の一部に限定して再設定するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

この発明に係るエレベータの制御方法は、エレベータの地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、エレベータの全昇降行程の一部に限定して設定するステップと、地震時管制運転が実施された後、設定された診断区間のみ診断運転を実施するステップと、診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、全昇降行程の一部に限定してエレベータの運転を再開するステップと、診断区間において実施された診断運転で異常が発見された場合に、診断運転を再実施する区間を、エレベータの全昇降行程のうち、異常が発見された位置を除く他の一部に限定して再設定するステップと、を備えたものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、この発明に係るエレベータの制御方法は、地震発生時のエレベータのかごの状態を記憶するステップと、記憶されたかごの状態に基づいて、地震時管制運転後に診断運転を実施する区間を、エレベータの全昇降行程の一部に限定して設定するステップと、地震

時管制運転が実施された後、設定された診断区間のみ診断運転を実施するステップと、診断区間において実施された診断運転で異常が発見されなかった場合に、全昇降行程の一部に限定してエレベータの運転を再開するステップと、診断区間において実施された診断運転で異常が発見された場合に、診断運転を再実施する区間を、エレベータの全昇降行程のうち、異常が発見された位置を除く他の一部に限定して再設定するステップと、を備えたものである。